



『する・みる・ささえる』 第2回竹山小学校運動会

天候を心配していましたが、気持ちの良い気候の中で竹山小学校2回目の運動会を開催することができました。

当日は、赤組白組に分かれた競技と今年度から低・中・高学年に分かれて取り組んだ表現、全校応援合戦に取り組みました。

兵庫のスポーツ推進計画や県教委の指導の重点には、『する』『みる』『ささえる』を意識したスポーツへの参画を通じて、楽しさや感動を分かち合うことや、共に支え合うことなど、スポーツを通して一人ひとりが健康で、いきいきと暮らす社会をめざすよう示されています。

今回の運動会では、練習時から演技や競技を『する』ことだけにとどまらず、自分や友だちの演技や走る様子を『みる』ことで運動のコツを学んだり、友だちの頑張りを応援したりすることで、『支える』また、支えられたりする体験ができたのではないかなと子どもたちの表情や保護者の皆様からの感想から感じています。

- ・子どもたちが一生懸命頑張る姿は本当にキラキラしていて素敵でした。1年生をリードする姿、友だちを応援する姿、大きな声で応援合戦に取り組む姿など成長を感じました。
- ・子どもたちは一生懸命演技・競技に取り組めていました。その中でも子どもたちの笑顔が素敵でした。
- ・本番も精一杯力を出して仲間と協力し合うところを見て、素晴らしいと思いました。負けた時に涙を出す姿に、純粋、かわいいと思いながら、結果が大事ですが努力の過程と経験に勝敗以上の価値があると思いました。
- ・小学校最後の運動会。コロナ禍で入学時から本当に大変でいろんな思いや不安を抱えていたことを思い出しました。マスクやソーシャルディスタンスが当たり前になり、子どもたちが何となくでも感じていた心や物理的な距離は、私たちが見ても歯がゆく切ないものでした。でもそんなことを忘れてしまうくらい6年生をはじめ竹山小学校全員の団結力や絆は深く、本当に心温まる子供の成長を感じる素晴らしい運動会でした。
- ・3年生は初めてのリレー、バトンパスも上手でみんな一生懸命走っていました。
- ・子どもたち一人ひとりの輝く姿に胸が熱くなりました。特に6年生の堂々とした姿、下級生を引っ張る姿勢に大きな成長を感じました。「仲間とともに挑戦し、協力し合う、達成感を味わう」という学校のねらいそのものを子どもたちの姿から感じることができました。先生方の温かいご指導に心より感謝申し上げます。
- ・娘の初めての運動会。娘だけでなくどの学年も一生懸命の姿に胸が熱くなりました。玉が取れなくてあたふたしている友だちに対して「これ、これ」と自分の持っている玉を渡してあげている6年生の子の姿に感動しました。人を思いやる心がぐんぐん育っていてステキだと思いました。
- ・なにより競技や演技中の子どもたちがすごく楽しいそうで真剣で見たことのない表情や姿にとっても感動しました。
- ・低中高の表現がそれぞれのよさが出ていてすごく良かったです。3・4年生は今まで勉強してきたことが表現されていて音・動き・旗だけなのに目に浮かんできてとても感動しました。



特に『支える』については、一人ひとりの子どもたちを支える先生方の関わりに対して感謝のお声をたくさんいただきました。また、地域保護者の皆さんの声援や拍手に子どもたちは強く支えられていたのを感じました。さらに高学年を中心に子どもたち同士の支え合いも数多く見られ、竹山小学校のグラウンドが一体となり『する・みる・ささえる』運動会が実現できたと思いました。昨年度に続きあたたかな気持ちを感じ

る運動会が竹山小学校の文化となりつつあります。

今年も先生方・地域保護者のみなさん、そして子どもたちに「感謝」の運動会となりました。ありがとうございました。

運動会の様子は竹山小HP

[竹山小学校 2 回目の運動会 NO 1（10 月 18 日開催） - 丹波市立小中学校ポータルサイト](#)

[竹山小学校 2 回目の運動会 NO2（10 月 18 日開催） - 丹波市立小中学校ポータルサイト](#)